

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業 概要

琉球大学
楠瀬賢也



循環器病対策基本計画

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>



脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

令和6年度当初予算額 2.2億円 (2.8億円) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

○循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。
○この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

【事業創設年度：令和4年度、補助率：定額（10/10相当）】

2 事業の概要・スキーム

＜事業の概要＞

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

＜期待される効果＞

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関

①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

◆箇所数：12箇所

◆1箇所あたり：1,800万円程度

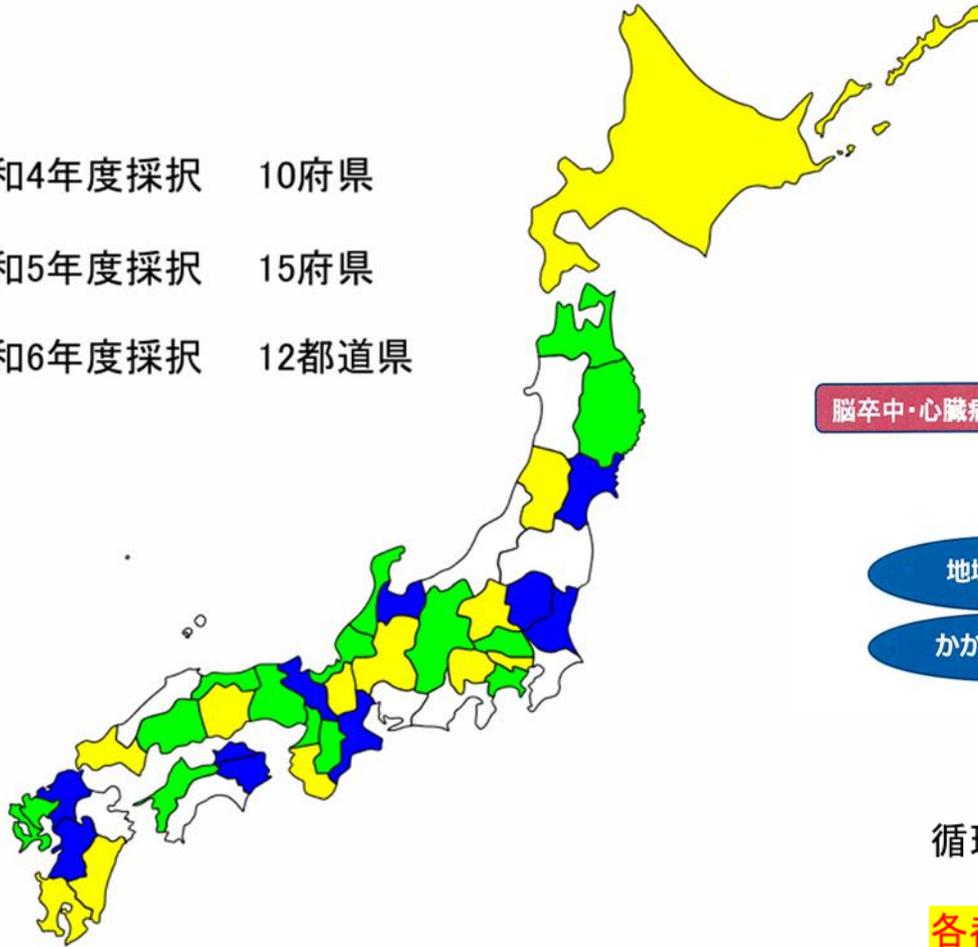
◆事業実績：令和5年度応募数27医療機関、採択数16医療機関（15府県）

令和4年度応募数32医療機関、採択数12医療機関（10府県）

合計25府県で事業開

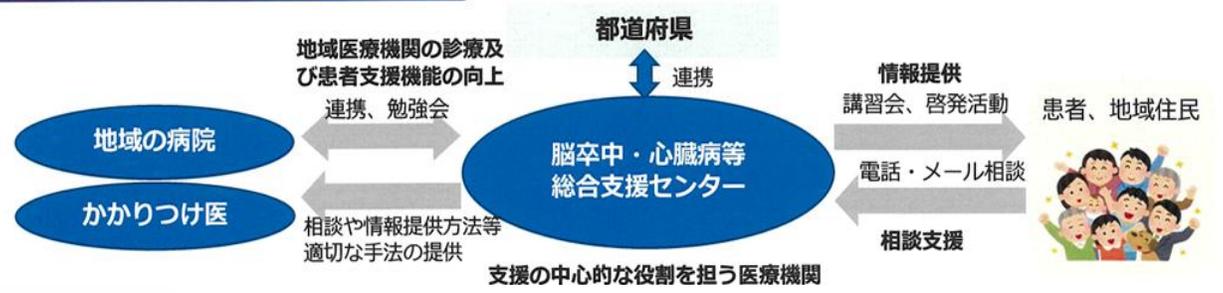
脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

- 令和4年度採択 10府県
- 令和5年度採択 15府県
- 令和6年度採択 12都道県



脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

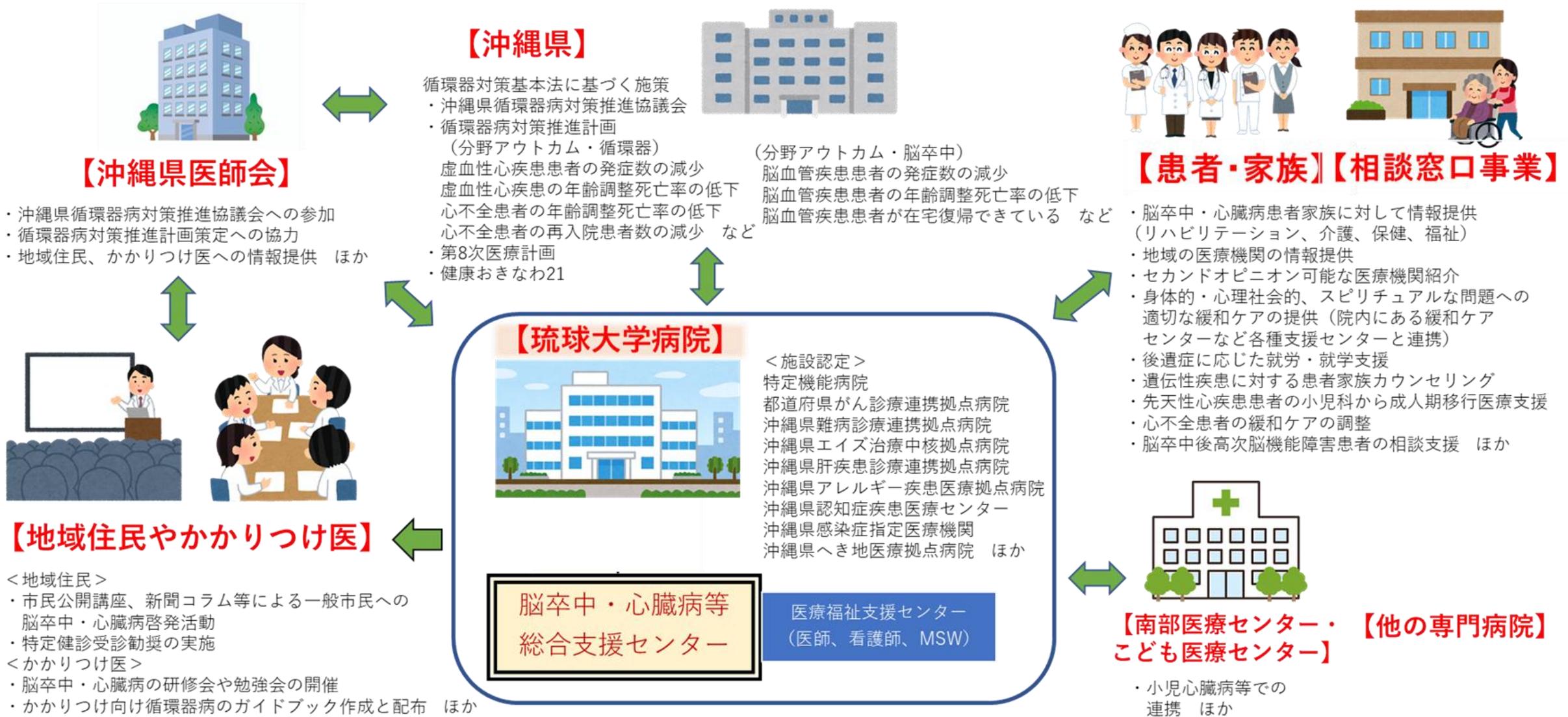
本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



循環器病対策推進基本計画の患者支援に関する重点施策を

各都道府県のハブとなって行政・地域医療機関・各団体と連携して進める

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター



おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター運営委員会

センター長: 楠瀬 賢也 (第三内科教授)

場所: 患者支援センター横
(病院3階 Kブロック)

副センター長: 古川 浩二郎 (第二外科教授)

副センター長: 浜崎 禎 (脳神経外科教授)

平田 哲生 (患者支援センター長他, 特命教授)

山田 尚基 (リハビリテーション部教授)

伊良皆 美香 (看護副部長)

上原 泉 (9北師長)

山川 知美 (10南師長)

國場 和仁 (地域・国際医療部)

永田 春乃 (リハビリテーション部)

2025年7月15日時点

- ①患者相談窓口の設置
- ②地域住民を対象とした情報提供，予防啓発活動
- ③地域の医療機関，かかりつけ医を対象とした研修会，勉強会
- ④患者や家族向けのパンフレット作製，ホームページの作成

①患者相談窓口の設置

相談例

- 脳卒中・心臓病などについて一般的な情報提供
- 再発予防に関する生活習慣などの相談
- 在宅療養の相談や介護に関する相談
- 福祉サービス申請・利用手続きの相談
- 後遺症治療に関する相談
- 職場復帰，社会参加などに向けた相談

等

- 後遺症治療に関する相談
 - 職場復帰，社会参加などに向けた相談
- 等

事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

このガイドラインは、事業場が、がん、脳卒中などの疾病を抱える方々に対して、適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行い、治療と仕事が両立できるようにするため、事業場における取組などをまとめたものです。



- [PDF 治療と仕事の両立に関する支援制度・機関 \[857KB\]](#)
- ▶ [PDF がんに関する留意事項 \[1.2MB\]](#)
- ▶ [PDF 脳卒中に関する留意事項 \[1.1MB\]](#)
- ▶ [PDF 肝疾患に関する留意事項 \[981KB\]](#)
- ▶ [PDF 難病に関する留意事項 \[928KB\]](#)
- ▶ [PDF 心疾患に関する留意事項 \[1.1MB\]](#)
- ▶ [PDF 糖尿病に関する留意事項 \[953KB\]](#)

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

- 後遺症治療に関する相談
 - 職場復帰，社会参加などに向けた相談
- 等

※ 地域におけるリハビリ資源の確認および情報提供

心臓リハビリできる施設MAP

更新日：2024年3月1日

参照：四国 - JACR日本心臓リハビリテーション学会



※ 徳島大学脳心センターホームページ
より引用

リハビリと復職をセットで支援 県内唯一の「自立訓練」単独施設 浦添に「ジョブトレ」開所 沖縄

琉球新報電子版 2025/5/21

<https://ryukyushimpo.jp/news/national/entry-4253664.html>



医療や介護保険ではなく障害福祉サービス
などを利用したリハビリ施設(機能訓練)

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

②地域住民を対象とした情報提供，予防啓発活動

8/3 心臓ハートの日(8/10)関連市民公開講座&健康無料相談会(心不全療養指導士ネットワークと共同主催)



②地域住民を対象とした情報提供, 予防啓発活動

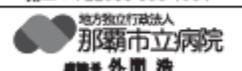
8/10 協賛広告供覧



友愛医療センター
理事長 比嘉 国基 院長 嵩下 英次郎
循環器内科部長 嘉敷 真教
心臓血管外科部長 山内 昭彦
脳神経外科部長 山田 創
豊見城市字与祖60番地5 TEL 098-850-3811



首里城下町クリニック
医師 田名 毅・比嘉 啓
循環器科・高血圧症・リウマチ・膠原病・糖尿病
循環器疾患・その他内科一般・血液透析(外来)
第一: TEL 098-885-5000
第二: TEL 098-833-1001



那覇市立病院
循環器科 外科 泌尿科
2025年10月新病院開院予定
循環器内科・生活習慣病・一般内科
なんくる内科
名護市真喜屋311番地 0980-43-6934

8月10日は健康ハートの日

ハートはともだち～大切にしよう、自分のハート～

健康ハートの日とは？

8月10日が810（ハート）と読めることから、1985年にこの日を「健康ハートの日」とすることを日本心臓財団が提議しました。みなさんも暑い夏の日、毎日休みなく働いている心臓を思いやり、健康について考える「こころからだの休日」を過ごしませんか。

健康ハート10か条

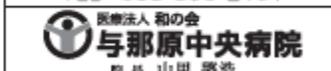
- ①血圧とコレステロールを正常に。(とりすぎ、糖尿病には注意して)
- ②脂肪の摂取は、植物性を中心に。
- ③食塩は調理の工夫で、無理なく減塩。(1日、6g未満を目標に)
- ④食品は、栄養バランスを考えて。(1日、30食品を目標に)
- ⑤食事の量は、運動量とのバランスで。甘いものには要注意。
- ⑥つとめて歩き、適度な運動。
- ⑦ストレスは、工夫をこらして上手に発散。
- ⑧お酒の量は、自分のペースでほどほどに。
- ⑨タバコは吸わない。喫煙に注意。
- ⑩定期検診をすれずに。(毎年一度は健康診断)



医療法人 博愛会
牧港中央病院
理事長 洲録 盛一
浦添市字牧港1199番地
電話 (098) 877-0575



医療法人 那覇水会
宜野湾記念病院
内科/外科/整形外科/リハビリ科
糖尿病外来/ボツリヌス療法
令和7年8月 整形外科手術再開
TEL : 098-893-2101



医療法人 和の会
与那原中央病院
院長 山根 啓浩
沖縄県島尻郡与那原町字与那原2905番地
TEL 098-949-9201 URL <https://www.ych.or.jp/>



海邦病院
○内科 ○整形外科 ○泌尿科
○人工透析 ○リハビリテーション科 TEL 856-2111

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

②地域住民を対象とした情報提供, 予防啓発活動

8/10 ライトアップ

今年も、全国の名所・協力施設がハート色にライトアップされます。

"ハートの色"とは**赤**です。

赤のライトアップを見たら、自分のハート **-心臓-** のことも気にかけてみてください。



琉球新報社本社ビル



※8/11 琉球新報 22面

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

②地域住民を対象とした情報提供，予防啓発活動

沖縄県全体の血圧管理目標値の設定と意識向上

【背景】

沖縄県における65歳未満（30～64歳）の死亡原因の第1位は、男女共に高血圧関連疾患であり、各年齢階級別の死亡率では虚血性心疾患、脳内出血において全国の都道府県別順位においてワーストとなっている階級がある。

【目標】

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター、沖縄県医師会、沖縄県の3者による県内で目指すべき血圧目標値を設定し、血圧管理および早期受診啓発を行うことにより県民の健康寿命の延伸に寄与する。

【手段】

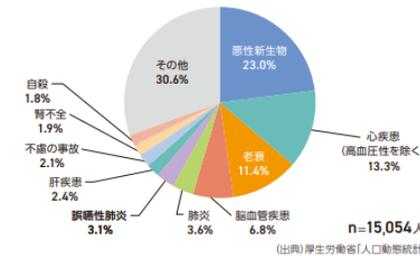
ポスターの作成/配布、県やセンター事業のホームページへの掲載、市民公開講座等での啓発活動

県民の健康状態の現状

死因の上位は生活習慣病！

令和4年の沖縄県の総死亡数は15,054人で死因別では、悪性新生物(がん)や心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病が占めています。

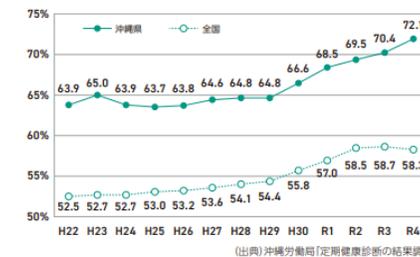
沖縄県死因別構成割合(R4)



働き盛りの健康状態が悪い！

職場における定期健康診断の有所見率は、年々増加しており、全国を大きく上回っています。平成23年から12年連続で全国最下位です。

職場における定期健康診断有所見率の推移



20～64歳の年齢階級別死亡率（全国ワースト3位以内）

男性		
心疾患	45～49歳	1位
	40～44歳	2位
	30～34歳	3位
脳血管疾患	30～34歳	1位
	40～44歳	2位
	55～59歳	3位
肝疾患	30～64歳	1位
	60～64歳	3位

女性		
心疾患	60～64歳	1位
	45～49歳	3位
脳血管疾患	30～34歳	3位
	40～44歳	1位
肝疾患	60～64歳	3位
	40～44歳	1位
糖尿病	40～44歳	1位
	55～59歳	1位

（出典）厚生労働省「人口動態統計」から算出

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

②地域住民を対象とした情報提供, 予防啓発活動

【血圧値の設定】

・ discussion

【メッセージ】

- ・ 高血圧のリスク(心血管イベントが増加する等)
- ・ 目標血圧以上の場合の受診勧奨(かかりつけ医への受診を推進するメッセージ)



高血圧は黄信号
高血圧は心臓病のリスクが高まります。

かかりつけ医で正しく治療しましょう。

正常血圧は120/80mmHg未満です。
治療中の方の血圧目標値については、主治医にご相談ください。

愛媛県健康課題は **高血圧!**

血圧の正常値は120/80mmHg未満です

愛媛県民のみなさんへ!!

みなさんは自分の血圧を知っていますか?

健康診断を受けましょう!

群馬県健康課題は **高血圧** です!

高血圧は、脳卒中・心筋梗塞の最大の要因です

元気県ぐんま21(第3次)目標値は収縮期血圧125mmHg未満です

対策1: 血圧管理
自宅や職場で血圧をはかりましょう。毎日に怠りず適度な運動をしましょう!

対策2: 早期受診
目標値以上の方は、かかりつけ医を受診しましょう!

宮城県 Otsuka 大塚製薬

忘れないで! 降圧目標 130/80!

80

血圧コントロールは大切です。

適度な運動 減塩 よく寝る 禁煙 禁アルコール

宮城県と大塚製薬は連携協定を締結し、健康づくりに取り組んでいます。

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター 本年度の目標

②地域住民を対象とした情報提供, 予防啓発活動

10/29 世界脳卒中デイルイトアップ



<https://www.jsa-web.org/citizen/4855.html> より

脳卒中協会県支部と協力し協賛広告

琉球新報社本社ビルをライトアップ



公益社団法人日本脳卒中協会
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-15 共同ビル 4 階
Tel:06-6629-7378 Email:info@jsa-web.org

J S A 発 2 0 2 5 送 第 4 7 号
2025 年 8 月 25 日

琉球新報社中部支社
中部広告グループ 御中

公益社団法人日本脳卒中協会
理事長 峰松 一素
公益社団法人日本脳卒中協会
沖縄県支部長 大屋祐輔



琉球新報社本社ビル
世界脳卒中デー* ライトアップのお願い

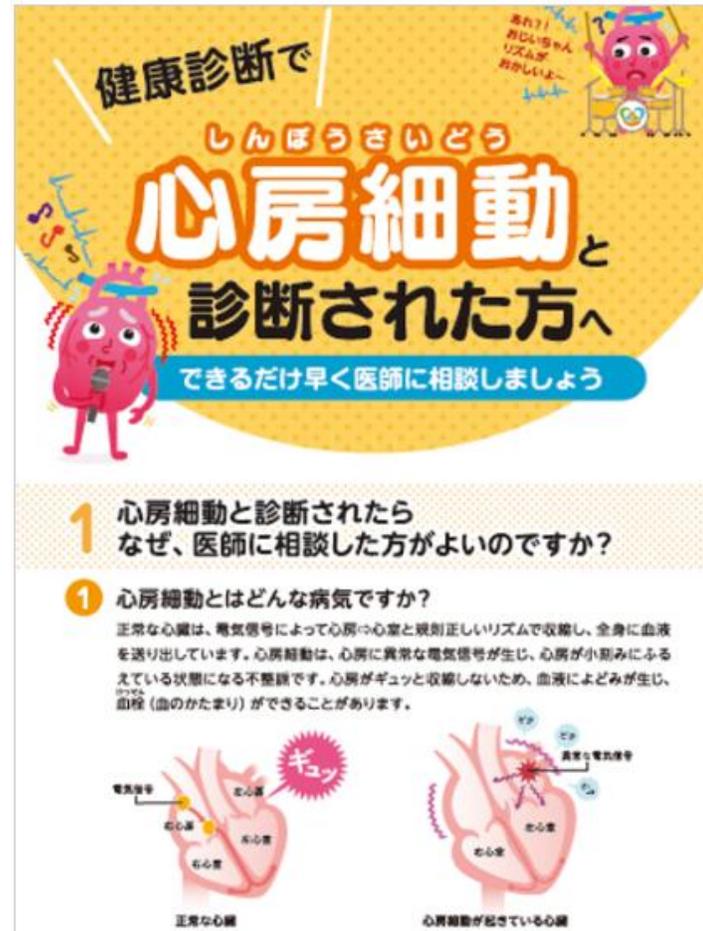
謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本脳卒中協会は、脳卒中の予防と患者・家族の支援を目的として 1997 年に設立され、2005 年 3 月に社団法人として、2012 年 10 月に公益社団法人に認可された団体で、(1) 脳卒中の予防ならびに発症時の対応に関する知識の普及と啓発、(2) 脳卒中患者の自立と社会参加を支援する事業、(3) パンフレット・広報誌等の監修・制作、(4) 脳卒中に関する調査研究、などを行っております。

その活動の一環として、日本脳卒中協会が加盟している世界脳卒中機構 (World Stroke Organization, WSO) の「世界脳卒中デー (World Stroke Day) : 10 月 29 日」に合わせてキャンペーンを実施しております。

脳卒中は、予防が可能で、発症後 1 分でも早く専門的治療を開始することによって後遺症を軽減することができます。世界脳卒中デーでは、世界中で脳卒中の啓発をテーマにしたキャンペーンが展開されます。

④患者や家族向けのパンフレット作製，ホームページの作成



日本循環器協会ホームページより



日本循環器協会ホームページより

④患者向けのアプリ利用 相談事業の中で、使えるツールを選定・共同開発を企画検討

うちなんちゅのための 健康サポートアプリ



2019年
5月リリース
10万ダウンロード

『那覇市』

アプリを活用した生活習慣病予防

目的

那覇市の特定健診受診者に対して
アプリを活用した生活習慣病予防



概要

アプリを活用して「-4%減量」にチャレンジ
開始前後の「スマホdeドック」により
血液の変化をチェック



沖縄セルラー様より提供資料

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター

9/4センター開所式



おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センターは立ち上がったばかりで、これからではありますが、

沖縄県における脳卒中、心臓病の予防啓発、患者支援の為、県、医師会、各医療機関や施設、患者などをつなげるハブとして努めていきたいと考えております。

中核事業として、脳卒中・心臓病の共通の因子である「高血圧」をターゲットに考えております。

皆様のご理解、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。